

## 福島第二原子力発電所 プラント状況等のお知らせ (日報：平成 24 年 3 月 27 日)

平成 24 年 3 月 27 日  
東京電力株式会社  
福島第二原子力発電所

福島第二原子力発電所では、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う津波の影響により、1, 2, 4 号機において原子力災害対策特別措置法の規定に基づく該当事象が発生し、同年 3 月 12 日、内閣総理大臣による原子力緊急事態宣言が発出されました。

その後、電動機等の復旧や残留熱除去ポンプの機能回復等の緊急事態応急対策を実施し、同年 3 月 15 日までに全号機で冷温停止を達成しました。

以後、同対策を継続して実施し、電源供給機能や残留熱除去機能の多重化を図るなど、プラントの安定的な冷温停止の維持に努めた結果、同年 12 月 26 日、内閣総理大臣により当所の原子力緊急事態解除が宣言され、原子力災害対策特別措置法に基づく原子力災害事後対策の実施段階に移行しました。

同対策を実施するにあたり、原子力事業者防災業務計画に基づく復旧計画を策定し、平成 24 年 1 月 31 日、経済産業大臣、福島県知事、楢葉町長、富岡町長に提出しました。

今後、本計画に基づき、プラントの冷温停止維持に係わる設備等の復旧を進め、さらなる信頼性向上に努めてまいります。

本日午後 4 時現在のプラント状況等について、別表および下記のとおりお知らせします（下線部が新規事項）。

### ○3・4号機サービス建屋における放射性物質による汚染の確認について

本日午後 0 時 42 分頃、福島第一原子力発電所から多核種除去設備の性能確認試験のため\*に搬入された試料（水）の受け入れ作業を行っていたところ、福島第二原子力発電所 3・4 号機サービス建屋において、管理区域から退域する際に物品の汚染確認を行うチェックポイントにある小物モニタ脇の机上（非管理区域\*）に放射性物質による汚染があることを、当社社員が確認しました。

原因については調査中です。

なお、汚染が確認された机上およびその他汚染の可能性のある箇所については、汚染拡大防止のため区画整理等を実施し、管理しております。

（平成 24 年 3 月 27 日お知らせ済み）

#### \* 非管理区域

管理区域は放射線による無用な被ばくを防止するため、また、放射性物質による放射能汚染の拡大防止をはかるため管理を必要とする区域で、非管理区域は管理区域外の区域です。

※多核種除去設備の性能確認試験のため：「分析のため」と記載しておりましたが、正しくは「多核種除去設備の性能確認試験のため」です。お詫びして訂正させていただきます。

（訂正日：平成 24 年 4 月 13 日）

以 上

福島第二原子力発電所 プラント状況（平成24年3月27日 午後4時現在）

別表

		1号機	2号機	3号機	4号機	参 考
原子炉の冷却	原子炉の状態	冷温停止中 (全制御棒全挿入)	冷温停止中 (全制御棒全挿入)	冷温停止中 (全制御棒全挿入)	冷温停止中 (全制御棒全挿入)	●冷温停止とは、原子炉水の温度が100℃未満で原子炉が未臨界の状態をいう。 ●左記の水温は午前6時現在の温度。
	原子炉水の温度	26.9℃	26.3℃	26.3℃	27.4℃	
	残留熱除去系（A）	運転中	運転中	運転中	待機中	●残留熱除去系1系列と原子炉冷却材浄化系にて原子炉の冷却を行っている。 ●原子炉冷却材浄化系は、原子炉水を浄化する装置だが、原子炉の冷却機能も有する。残留熱除去系2系統が停止したとしても、本系統により、原子炉の冷温停止状態を安定的に維持することが可能。
	残留熱除去系（B）	不待機	待機中	待機中	運転中	
	原子炉冷却材浄化系	運転中	運転中	運転中	運転中	
使用済燃料プールの冷却	燃料プール冷却浄化系	運転中	運転中	運転中	運転中	●使用済燃料プールの水温を65℃以下に保つよう、燃料プール冷却浄化系で冷却している。 ●左記の水温は午前6時現在の温度。
	使用済燃料プール水の温度	26.9℃	29.5℃	25.9℃	24.7℃	
外部電源		受電有	受電有	受電有	受電有	●当所の外部電源は、富岡線1号・2号（500kV系）、岩井戸線1号・2号（66kV系）の4回線がある。
非常用電源	非常用ディーゼル発電機（A）	復旧作業中	待機中	待機中	待機中	●外部電源喪失時のバックアップとして、非常用ディーゼル発電機2台が動作可能な状態を確保している。なお、非常用ディーゼル発電機は、複数の号機で共用することが可能である。 （1号機は、2～4号機の待機中の非常用ディーゼル発電機から受電可能）。 ●発電所構内には、全交流電源喪失時に原子炉や使用済燃料プールに注水するための電力を供給する電源車を配備している。
	非常用ディーゼル発電機（B）	待機中	待機中	待機中	待機中	
	高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機	復旧作業中	点検作業中	待機中	待機中	
モニタリングポスト (空間線量率の測定)		・発電所構内に7基（No.1～7）設置しているモニタリングポスト（環境中の放射線量を測定）はすべて稼働しており、測定値に有意な変動はありません。なお、3月27日～29日にかけて、モニタリングポスト全基の機能検査を実施します。検査は1基毎に行い、検査中に当該モニタリングポストによる大気中の放射線量の測定が一時的にできなくなりますが、他の6基のモニタリングポストで測定・確認を行います（天候等により、検査期間が変更となる場合があります）。 ※当社ホームページでモニタリングポストの測定値（空間線量率）を公開しています。 <a href="http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f2/index-j.html">http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f2/index-j.html</a>				
特記事項		・1号機において、残留熱除去系（B）補機系統設備のポンプ切替え作業に伴い、3/27 9:50から3/29 14:30(予定)の間、残留熱除去系（B）を不待機状態とする。 ・4号機において、海水熱交換器建屋内の足場材撤去作業に伴い、3/26 16:26残留熱除去系の運転を（A）から（B）に切替。残留熱除去系（A）は待機状態。 ・3/26 15:30より、緊急時対策支援システム（ERSS）への2号機のデータ伝送が出来ない不具合が発生。回線終端装置をリセットし、同日16:10に当該不具合は解消。その後、正常にデータ伝送が行われていることから、一過性の現象であったと推定。 ・2号機原子炉格納容器内目視点検（H24/3/6～） ・3号機原子炉格納容器内目視点検（H24/2/14～）				